

公述人に「シールズ」

民主推薦 きよつ中央公聴会

安保関連法案に関する参院特別委員会が十五日に開く中央公聴会に、民主党は十四日、意見を表明する「公述人」として、反対デモを国会周辺で続ける若者グループ「SEALDs」(自

由と民主主義のための学生緊急行動「シールズ」中心メンバーの明治学院大四年、奥田愛基氏(ニミ)を推薦すると明らかにした。公述人にデモの中心メンバーが選ばれるのは異例。

奥田氏は公述人に応募した九十五人の中からただ一人選ばれた。中央公聴会では与党推薦二人、野党推薦四人が順に意見を述べ、委員と質疑する。ほかの公述人五人は各党が直接依頼した大学教授や弁護士ら。公募に応じた九十五人は全員が反対の立場だった。

特別委員の福山哲郎氏(民主)は「廃案に向けた国民の全国的な動きにシールズが大きな役割を果たした。国民が路上から訴える思いを国会の中にも伝えていただきたい」と記者団に説明した。

福山氏は応募した九十五人の中から、有識者二人を十六日に横浜市で開かれる地方公聴会の野党推薦公述人に選んだことも明らかにした。